18tの生産目標数量を達成することができました。19年産米は、18年産米の生産目標数量に比べ222t少ない2万5196tが必要量であるとして、県から情報提供があり、これに基づき、大館市水田農業振興協議会では、配分率を65・8%に決定し、生産調整方針作成者となるJAなどに情報提供しています。今後は、JAなどが生産調整方針を作成し、各農家に生産目標数量を配分します。

また、大館市地域水田農業ビジョンに基づく産地づくり対策は、生産者やJAなどの関係機関と連携し推進してきましたが、アスパラガス等の重点戦略作物は、作付面積が拡大しています。

林業の状況

森林整備公社による私有林の間伐事業は、本年度から事業区域を比内地域と田代地域にも拡大し、大館地域で21・54ha、比内地域で12・52ha、田代地域で6・29haの合計40・35haで実施し、目標の40haを達成しています。

平成15年度に着手した「林道岩の目沢線」は、昨年12月に全区間の整備が完了し、本年4月から延長1495mで供用開始となる見込みです。

秋田県後期高齢者医療広域連合の設立

現行の老人保健制度に替わり、来年4月から新たに創設される後期高齢者医療制度の運営主体となる「秋田県後期高齢者医療広域連合」が、2月1日正式に発足しました。

本市における、この新しい制度の被保険者数は、約1万3千人と見込まれます。

市では、広域連合との間で、資格に関する基礎的なデータなどの受け渡しが必要となるほか、被保険者証交付などの窓口業務や保険料徴収に係る事務を担当します。このため、電算処理システムの構築など、新たな制度に向けた準備を進めています。

花岡保育所改築事業

本事業は、花岡町前田の市営住宅隣接地内に、総事業費1億7800万円、2カ年の継続事業として、3月15日の竣工に向けて順調に工事が進んでいます。

新しい保育所は、遊戯室を中央に配置したオーブンタイプの施設であり、建築材料は、地元の秋田杉集成材やリサイクル合材を使用しています。

花岡保育所の完成により、花岡地区に良好な保育環境が整備され、待機児童の

減少等、少子化対策・子育て支援につながるものと考えています。

忠犬八子公のふるさと

秋田大館フェアを渋谷で開催

本市の観光物産展「平成19年忠犬八子公のふるさと・秋田大館フェア」を、渋谷区の特段の配慮により昨年に引き続きJR渋谷駅八子公広場で、2月16日、17日の2日間わたって開催しました。

会場では、曲げわっぱ太鼓の演奏や秋田犬とのふれあいコーナーなど本市の観光物産のPRに加え、大館能代空港の観光キャンペーンを展開してきました。

今後、全国でも有数のにぎわいがあり、友好関係にある渋谷区を拠点として、全国に向けて大館を発信していきます。

大町地区「暮らし・にぎわい再生事業」への取り組み状況

本事業は、国の補助制度の創設が遅れたことから、来年度に繰り越すことを余儀なくされていますが、大町住宅街区と旧正札竹村街区の2街区で、それぞれ実現可能な基本計画を作成したいと考えています。

大町住宅街区は、借り上げ公営住宅を核とする施設建設の事業化を目指し進めてきましたが、先般、地権者全員から「事業主体にはなれないものの、権利床を取得することで事業に協力したい」との申し出があり、今後は、大館商工会議所等を通じて地元企業に対し、概算額を含めた基本計画案を提示しながら事業施行者の発掘に努めたいと考えています。

また、旧正札竹村街区は、「大町地区

まちづくり協議会」が主体となって進めますが、基本計画の策定には、街区の決定や事業内容への合意形成が必要であり、早期の事業着手を期待しています。

ノロウイルスによる院内感染の発生

2月上旬、市立総合病院でノロウイルスによる院内感染が発生し、患者の皆さんやご家族に不自由をおかけするともに、多大な不安を与え、深くおわび申し上げます。

院内感染の疑いの報告を受け、2月9日、感染病棟の全面消毒を実施、ノロウイルスが原因であると確認された翌10日には、危機管理対策会議を開くとともに、院内に「ノロウイルス感染対策本部」を設置し、感染病棟の閉鎖と感染拡大の防止策を講じました。

市民の皆さんには、大変なご心配とご迷惑をお掛けしていますが、引き続き消毒の徹底を図るなど、一日も早く終息するよう努めます。

3月6日病棟閉鎖を解除しました。

そのほかの報告

地域雇用創造支援事業による雇用開発

第23回比内とりの市の開催

平成19年大館アメッコ市の開催

都市計画マスタープランの策定状況

秋田わか杉国体開催に向けての準備状況

二井田公民館の竣工

山館浄水場運転管理業務の委託

水道施設の整備状況

公共下水道の整備状況

市立総合病院増改築事業の進捗状況

市立総合病院物品管理システムの導入